

2017

数字から見る
日本

今月の提案 Vol.50

史上初、飼い猫の数が 飼い犬の数を上回る

— 高齢者や一人暮らし世帯が増加し、散歩などの世話が必要な犬を飼う人が減る

本年の干支は「戌（いぬ）」、ということで、犬にまつわる話題をお届けしたい。

近年、少子高齢化の影響もあってか、なにかとペットに関する話題が多い。一般社団法人ペットフード協会（東京都千代田区）が、2017年12月22日に発表した「全国犬猫飼育実態調査」によると、これまでペットとして常に一位であった犬が、昨年、ついに猫に抜かれたという。

同調査によると、犬が前年から43万6000匹減って892万匹だったのに対し、猫は同21万7000匹増えて952万6000匹だった。猫はここ数年横ばいだが、犬は減少傾向にあるという。

同調査は、1994年より行われており、ペットフードを製造・販売する企業の業界団体である同協会が毎年、インターネットで実施し

ており、調査サンプル数も5万人以上という、かなり大がかりな規模で行われている。得られた回答を基に飼育数を推計しているわけだ。

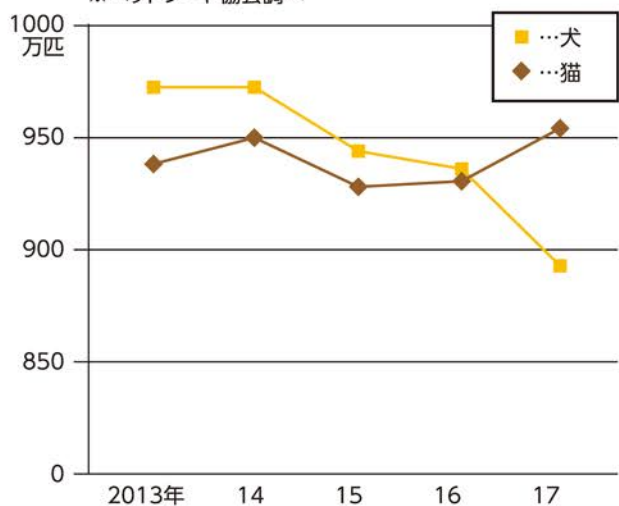
関係者は「人間の高齢化や一人暮らし世帯の増加などが影響し、散歩などの世話が必要な犬を飼う人が減った」と指摘。一方の猫は、写真集やCMで人気を集めるなど最近の“猫ブーム”もプラスになったとみられる。

確かに、猫カフェの出店が増えたり、宮城県石巻市にある小さな離島「田代島」をはじめ、猫が多く住む猫島など、猫に関する話題は多い。

また、共同住宅など室内では犬を飼うことが制限される場合もあり、それらが相まって飼い猫の方が多くなったとも推測される。

犬猫飼育数の推移(推計)

※ペットフード協会調べ



さらには、やはりスマホの普及による影響もあるのではないかと

というのは、昨年の流行語大賞は「インスタ映え」だったが、インスタグラムをはじめ、SNSでペットの写真を共有する人は多い。その中にはもちろん犬や小鳥、亀などもあるが、やはり猫の写真が多い。

ちなみに「猫」「インスタ」で検索すると投稿1,840万件、同様に「犬」「インスタ」で検索すると950万件という具合である。

その内「干支も猫に取って代わられる」などということはあるにないが、犬派にとっては肩身の狭い状況かもしれない。

■参考資料

一般社団法人ペットフード協会 全国犬猫飼育実態調査

<http://www.petfood.or.jp/data/index.html>

平成29年 全国犬猫飼育実態調査

<http://www.petfood.or.jp/data/chart2017/index.html>

ペット数、猫が犬を初めて逆転 飼い主の数は犬が多数

<https://www.asahi.com/articles/ASKDP5HXCKDPPTFC005.html>

猫の数が犬を上回る 飼育実態調査で初めて 最近の“猫ブーム”もプラス(産経ニュース)

<http://www.sankei.com/life/news/171222/lif1712220031-n1.html>



美楽からの一言

少子高齢化の影響は、様々な面で現れている。子供がいない家庭がペットを飼うことで、代用しているケースもある。

また未婚の人口が増え、一人暮らしの寂しさを紛らすために、ペットを飼うことも増えている。

ペット飼いが国を滅ぼすことなどないように願いたい。